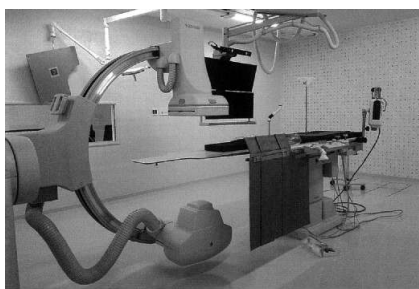


資金募集にご協力ください

東京勤医会の事業を守り
発展させるために

東京勤医会と代々木病院・診療所等への友の会の皆さまの日頃のご協力が心より感謝申し上げます。

資金募集に
ご協力ください

資金募集要項

寄付金

地域協同基金

(無利息・無期限)

特定協力借入金

(有利息・年利1.0% 期間5年)

医療法人財団

東京勤労者医療会

す。東京勤医会は東京・千葉・埼玉の3都県に31の事業所をおき医療活動を行っています。貧困と格差の拡大や超高齢化という大きな課題を抱える社会状況の中で、入院の差額ベッド代をいただく、無差別・平等の医療・介護の実践」「総合的な医療・介護の質の向上」を目指しています。そして安心して住み続けられる地域づくりを友の会の皆さんと一緒に今後も続けてまいります。

現在、全国の多くの病院が経営危機に陥っています。「このままではある日突然病院がなくなる」と様々な病院団体が発言を鳴らしています。東京勤医会も同様に厳しい状況です。経営の立て直しは急務の課題であり、全法的に取り組んでいます。

このような中、東京勤医会の施設・医療機器の充実・経営の安定のために、友の会の皆さまには是非資金の協力をお願いいたします。特定協力借入金金は10月より利息を1・0%に上げて募集をしています。また、地域協同基金(無利息)・寄付金も募集しています。多くの方々の応募をお願いします。(東京勤労者医療会 経理部長 南隆子)

渋谷区「特定健診」、「後期高齢者医療健康診査」を受けましょう

渋谷区の「特定健診」(40歳~74歳)、「後期高齢者医療健康診査」(75歳以上)を受けましょう。年度内(4月1日~翌年3月31日)に1回無料で受診できます。受診時期に渋谷区から「健康診断」の受診券が送付されます。誕生月により、受診時期が異なりますので、ご確認のうえ受診忘れのないようご注意ください。

民医連

代々木歯科コーナー

連載



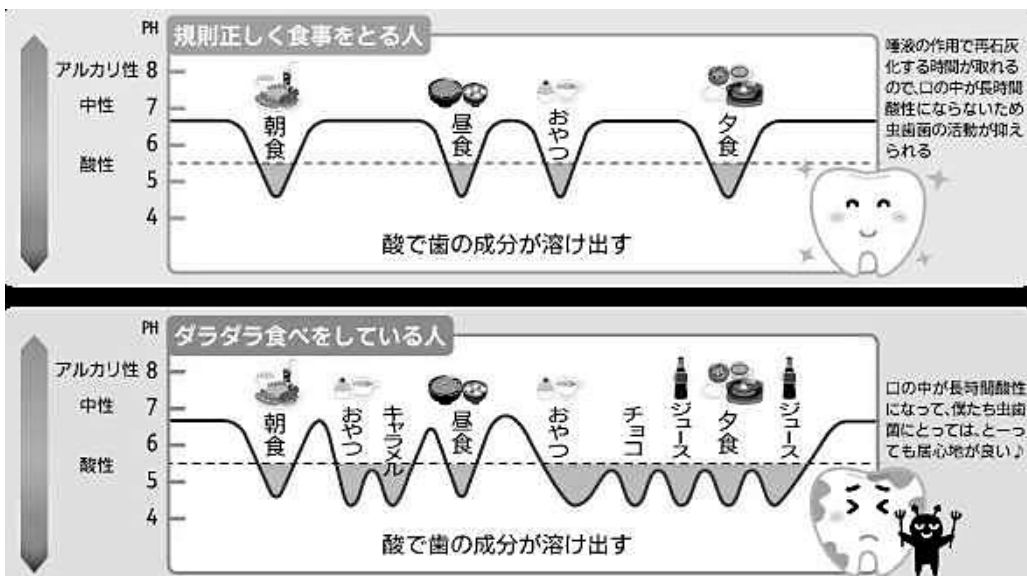
— その136 — 歯科医師 監物佐栄子

だらだら食べると虫歯になりやすいの？

物を食べると歯垢の中は酸性に傾き、少しずつ歯が溶け始めます。これを「脱灰(だつかい)」といいます。唾液には酸を中和して、脱灰した歯の表面を修復し歯を強くする「再石灰化」の働きがあります。

一日中、だらだら食べていると、脱灰の時間が長くなり、虫歯になりやすい環境になってしまいます。

食事とおやつの時間はきちんと決めて、なにも食べない「再石灰化」の時間を長くすることが、虫歯予防には大切です。もちろん、食後の歯みがきも忘れないようにしましょう。



外来待合室で、地域医療まもれ「緊急署名」16筆



署名応じる患者

10月7日に外来待合室で「医療機関の存続・維持と地域医療を守る」国会請願署名への協力を患者さんをお願いしてまわ

りました。全国の医療機関が赤字で医療活動の継続に不安を抱えていることを伝えようと、多くの患者さんが快く署名して頂きました。「緊急署名」へのご協力をお願いいたします。

核廃絶を早期に実現させよう
千駄ヶ谷駅でアピール

駅頭宣伝で11筆の署名が集まる

10月8日に千駄ヶ谷駅前で、核廃絶なくせの署名・宣伝行動を行いました。「被爆者には時間がない。核廃絶を早期に実現させよう」、「被爆国である日本こそ核廃絶の先頭に立つことが求められる」と訴え、日本政府に「核禁止条約への参加を求めよう」と呼びかけました。若い方から高齢者まで11筆の署名が寄せられました。

サプリメントに
頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)



検証事業を報告

消費者庁は9月9日「機能性表示食品に係る機能性表示成分に関する検証事業報告書」の全文をホームページで公開しました。6月6日にでた最高裁判所の判決を受けたものです。

公開された文書には、重要な指摘が記されていました。イチヨウ葉エキ

この報告書は2016年2月に出了たもので、前年にスタートした制度の実態を把握するため、146品目について分析方法を検証した結果です。消費者団体の情報公開請求に対し、内容の多くが黒塗り(いわゆる「のり弁」)で示されたため、情報開示を求めて裁判で争われました。最高裁は高裁への差し戻しを命じました。

制度が始まって10年。問題点を検証し、抜本的な改善を求める時期です。

スの例では、複雑な成分組成の一部だけが測定していません。また、商品名がブルーベリー&アサイミックスであるにもかかわらず、アスタキサンチン(ヘマトコッカス藻あるいはオキアミ由来であろうか?)を機能性関与成分としているなど、機能性関与成分と商品名とに関連性がないものもありました。

L・セリンは、食品添加物(調味料)として1日摂取許容量(ADI)が定められていないことをもって安全性の根拠としていました。これでは、g単位の量を摂取するサプリメントの安全性を保証できないという、制度の問題点がすべて非開示とされていたのです。

(124) 機能性表示食品制度、見直しの時期です